

KITAZATO が提案する ペッサリーの新しい選択



骨盤臓器脱治療用リング

KITAZATO RING PESSARY

www.kitazato-pessary.com

KITAZATO RING PESSARY

医療機器認証番号:223ADBZX00070000

患者さまに優しい素材

生体適合性が高く環境ホルモンを含まないナイロン樹脂です。
柔軟性と形状記憶性が優れており挿入が容易です。
オートクレーブ・EOガス滅菌が可能で、安全と安心をお届けします。



M型という新しいカタチ

装着後に外れにくい形状をしています。
子宮下垂・子宮脱だけでなく、膀胱脱にも効果があり、排尿障害を改善します。
直腸を圧迫しない形状は便秘を防ぎQOLを高めます。

M型



全体写真



装着イメージ

O型



全体写真



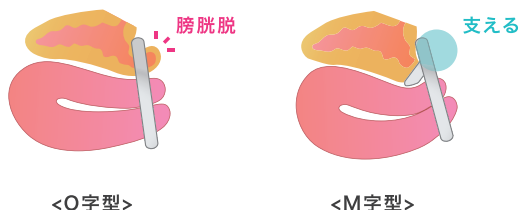
装着イメージ

KITAZATOリングペッサリーの特徴



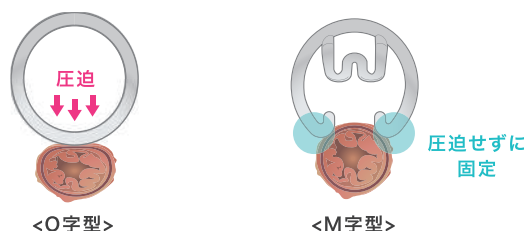
組織反応性の少ない医療系ナイロンで作られており、柔軟性に優れ、違和感が少ないのが特徴です。M型のペッサリーは、もともと膀胱瘤用に作られたものですが、膀胱瘤を抑えるためのM字部分により膀胱部分が適度に抑えられ、ペッサリーの腔内固定性を高めるために直腸を跨ぐように固定部が作成されているため、便秘になることが防げます。そのうえ固定部が開放しており、柔軟性も高いため、やや大きめのペッサリーでも違和感が低いのが特徴です。高齢者が多くなる昨今、積極的な手術療法が躊躇われる場合に最適です。

<横からの断面図>



O字型に比べM字突起部で膀胱を支えることができる。

<縦からの断面図>

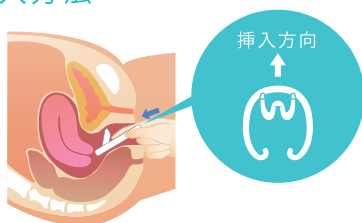


開放部により、腸を圧迫しないうえ、リングが回転しないよう固定ができる。

○M型ペッサリーの挿入方法

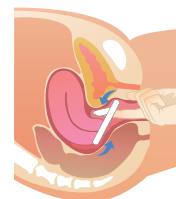
1. 挿入

滅菌手袋を使用し、本品をM状突起物がついている側から腔に挿入する。



2. 固定

腔内で指を用いて本品を平行方向に180°回転させ、M状突起物が膈前壁に、また切り込み部が直腸にはまるように恥骨結合後縁と後膈円蓋の間に本品を装着し、子宮頸部の正常の位置に固定する。



webサイトから説明動画がご覧いただけます。
O型・M型、両方の挿入方法をご紹介します。

↓ 動画をご覧の方はこちらにアクセス

www.kitazato-pessary.com

○仕様・規格

タイプ	品番	サイズ	包装単位	タイプ	品番	サイズ	包装単位
O型	KRP-55-O	Φ 55mm Otype	2pcs/pack	M型	KRP-55-M	Φ 55mm Mtype	2pcs/pack
	KRP-60-O	Φ 60mm Otype			KRP-60-M	Φ 60mm Mtype	
	KRP-65-O	Φ 65mm Otype			KRP-65-M	Φ 65mm Mtype	
	KRP-70-O	Φ 70mm Otype			KRP-70-M	Φ 70mm Mtype	
	KRP-75-O	Φ 75mm Otype			KRP-75-M	Φ 75mm Mtype	
	KRP-80-O	Φ 80mm Otype			KRP-80-M	Φ 80mm Mtype	

新型ペッサリー開発顧問

可世木 久幸 先生
セントウイメンズクリニック
院長 稲垣 昇 先生

不具合・有害事象

1. 膈壁の損傷 / 2. 自然脱去 /
3. 出血 / 4. 腸への圧迫・貫通

重要な基本的注意

1. 本品は未滅菌のため滅菌を施した上で使用すること。
2. 本品の挿入と取り出しは訓練を受けた医師の下で行うこと。
3. 本品のサイズは医師の診断に基づいて決定すること。
4. 本品の挿入前後には腔鏡で腔内を診察し、潰瘍、出血、感染の有無を観察すること。
5. 本品が腔壁に埋没嵌頓したり瘻孔を形成する等の恐れがあるため、本品を装着後は30日を基準に装着状態を観察すること。